

平成23年度情報通信月間企画趣旨

【情報通信月間】

情報通信月間(5月15日～6月15日)は、情報通信の制度改革を機に、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、昭和60年(1985年)に設けられ、今回で27回目を迎えます。

本月間の期間においては、全国各地で情報通信に関する様々な行事を開催しており、それら行事を通して、情報通信の発展が人々の利便性を高め、経済発展に寄与すること等について、国民の皆様のご理解を求めていきたいと考えています。

【国家戦略の推進】

政府は、高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策を迅速かつ重点的に推進することを目的にIT戦略本部を設置し、「e-Japan戦略」や「e-Japan戦略Ⅱ」をはじめとする戦略や重点計画等を策定しております。

また、平成22年には、新たな国民主義の社会を確立することを目的に、情報通信技術の徹底的な利活用により地域の絆を再生することなどを重点戦略とする「新たな情報通信技術戦略」を策定しました。

【新たな成長戦略ビジョンの推進】

総務省では、平成21年にICTの利活用による持続的経済成長の実現を目指す「ICT維新ビジョン」を発表し、①地域の絆の再生、②暮らしを守る雇用の創出、③世界をリードする環境負荷軽減を、2050年を見据えた達成目標としており、平成22年には、これらを具体化した「ICT維新ビジョン2.0」を発表しています。

また、少子高齢化の急速な進展による経済成長への影響等が懸念される中、グローバルな視点から、競争政策を環境変化に対応したものに見直すとともに、ICTの利活用により、我が国及び諸外国が直面する経済的・社会的課題等の解決に貢献するため「グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォース」において新たなICT政策に関する報告書を取りまとめました。

なお、クラウドネットワーク技術の発達により、情報通信システムやその利活用分野において、従来とは異なるICTの利活用が可能となる一方、クラウド技術の相互運用性の確保、適切な情報流通の確保の在り方、国際的なルールの在り方など様々な課題が指摘されていることを踏まえ、「スマート・クラウド研究会」を開催し、報告を取りまとめ、クラウドサービスの利活用の促進、次世代クラウド技術の研究開発や標準化等を推進するための戦略として、「スマート・クラウド戦略」を提言しています。

【情報通信月間の推進】

本年度の情報通信月間では、以上のような方針の下、

「デジタルと光がむすぶ、みんなのきずな」をテーマに

情報通信月間推進協議会(関係62団体により構成)と総務省が一体となって、全国各地で情報通信によるデモンストレーション、各種セミナー及びシンポジウム等の多彩な行事を開催していきます。

平成23年度情報通信月間テーマについて

「デジタルと光がむすぶ、みんなのきずな」

【テーマの意味】

「光ブロードバンドの拡大や地上デジタル放送への完全移行に伴い、ICTの利活用が加速することで、地域に新しい“きずな”(コミュニケーション)が生まれ、そのパワーが日本を元気にする」ということを意味します。